

# 平成29年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

茨城県

行 事 名 称	常楽寺火災防御訓練
実施期間・日時	平成30年1月25日(木)
実 施 場 所	北茨城市磯原町木皿463 常楽寺
主 催 者	常楽寺, 北茨城市消防署

## ■実施内容

### 訓練の想定

平成30年1月25日(木) 9時30分頃、不審火により北茨城市磯原町木皿463 常楽寺本堂で火災が発生。初期消火を試みるが鎮火は不可能と判断し消防へ通報。寺関係者が避難する際に転倒し負傷。その他逃げ遅れなし。

### 訓練の内容

住職が通報→初期消火(消火器)→救急隊による負傷者の搬送, 消防署隊員による放水

### 参加者及び役割分担

- 常楽寺住職 1名 (初期消火, 通報)
- 市消防署 31名 全体統括 負傷者, 放水訓練, 写真/ビデオ撮影, 救急隊, 安全員, 検証員
- 教育委員会 1名 現場立会い(生涯学習課)

### 特に工夫した点

お寺本堂の両わきには林と民家があるので、延焼を防ぐために本堂の両サイドから放水を初め、そこから中心部に向かって消火活動を行った。また、北茨城市消防署は隊員の数が比較的に少ないほうに入るので、少人数でも消火活動が出来るような防御体系を取り入れ、訓練実施後は反省のミーティングを行い、さらに速やかな消火活動が行えるように取り組んでいる。

### 問題点・課題

今回訓練の対象となった常楽寺は、農村部に位置している。農村部は火災が比較的に少ない地域であり、住民の防火意識が低くなりやすいので、今回のような訓練を通して防火意識の高揚を図りたい。また、今回は住職が屋根への放水を許可してくれたため、実践に近い形で訓練が出来たが、建物への放水を嫌う管理者が多く、この文化財防災訓練でも建物から狙いをはずして放水訓練をすることが多くなっている。

### その他

この訓練に興味を持ち、見学に来てくれる住民の方が何人か見られた。また、消防署としてもこのように実際の建物を使う訓練は貴重であり、新人の隊員や若手の隊員に経験を積ませることが出来るという点で良い機会であるとのことだった。

### 訓練風景

